

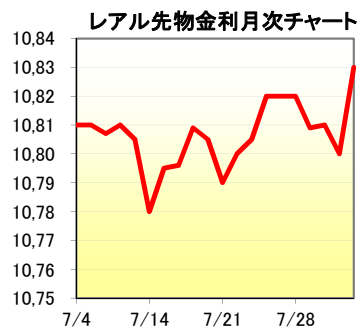
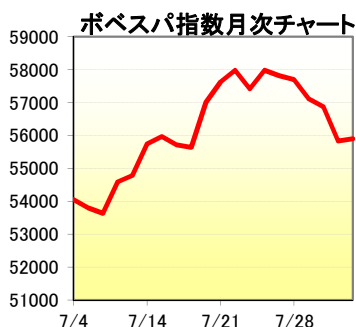
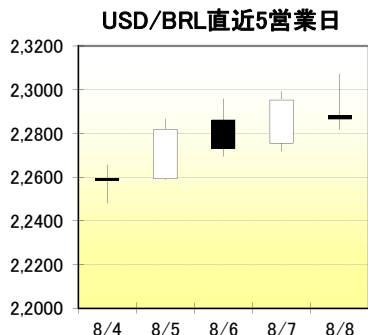
Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



1. マーケット・レート

			8月4日	8月5日	8月6日	8月7日	8月8日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2,2580	2,2820	2,2730	2,2950	2,2830	-0,0120
	USD/YEN	Spot	102,57	102,59	102,10	102,08	0,00	-102,0800
	EUR/USD	Spot	1,3422	1,3376	1,3383	1,3362	0,0000	-1,3362
	BRL/YEN	Spot	45,42	44,96	44,92	44,48	0,00	-44,4800
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1,11	1,03	0,99	1,04	1,04	+0,0030
		1Year(p.a.)	1,27	1,24	1,22	1,27	1,28	+0,0140
	Real Interest	6MTH(p.a.)	10,88	10,95	10,91	10,88	10,91	+0,0300
		1Year(p.a.)	11,14	11,29	11,23	11,28	11,23	-0,0550
Stock	Bovespa		56.616	56.202	56.487	56.188	55.573	-615,12
Bond	CDS Brazil 5y		156,21	166,00	163,50	167,60	165,00	-2,6000
	Global 40		110,725	110,725	110,850	110,475	110,600	+0,1250

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。



2. 主要経済指標

3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	
FGV CPI IPC-S	0.12%	0.16%	0.10%	なし
IBGEインフIPCA(前月比)	0.10%	0.01%	0.40%	
IBGEインフ率IPCA(前年比)	6.60%	6.50%	6.52%	

4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場はUS\$1=R\$2. 2590で寄り付いた。
- 週初めにはアルゼンチンの債務問題で米連邦地裁判事が危機解決を目指して協議を継続することを命じたことや、ポルトガルの銀行救済懸念への後退からリスク資産の反発が見られる中、リアルは寄付き後から買いが優勢となり、週間高値となるUS\$1=R\$2. 2480まで上昇した。
- 翌5日には国内外での指標発表を控えてドル買いの需要が強く見られたほか、7月のISMが前月比上昇したことからドル買いに拍車がかかり、リアルは2. 2800まで反落する展開となった。
- 更に週央にかけてはプーチン大統領が対ロシア制裁を発動した国およびその支持国からの「農産物と原材料、食料の輸入」を禁止もしくは制限するよう政府に指示し、対立が激化していることからリスク資産の売りが見られリアルはリスクオフモードにつられて一気に2. 29台を下抜け続落した後、2. 27台前半まで回復する展開となった。
- 翌7日にはウクライナ情勢の悪化懸念が重しとなり株式市場を中心にリスク資産が売られるたほか、米失業保険申請件数が前週比で減少したことからドル買いに拍車がかかり、リアルは2. 29台まで再び売り戻された。
- 週末にかけてリアルは週間安値となるUS\$1=R\$2. 3070を付けるも、ロシア国防省はウクライナ周辺地域での戦闘機の演習を終了したと明らかにしたことからリスクオフモードの動きが緩和され、リアルは2. 28台半ばまで買い戻された後、結局US\$1=R\$2. 2830で越週した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したもので、その情報の正確性、安全性を保障するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



5.来週発表される主要経済指標

日付	イベント	期間	予想	前回
8/11	IGP-M Inflation 1st Preview	Aug	-0.29%	-0.50%
8/11	貿易収支(週次)	Aug 10	--	--
8/12	FIPE CPI-週次	Aug 7	--	0.11%
8/14	小売売上高(前月比)	Jun	0.5%	0.5%
8/14	小売売上高(前年比)	Jun	3.7%	4.8%
8/14	広義小売売上高(前年比)	Jun	-1.3%	0.9%
8/14	登録雇用創出合計	Jul	19.632	25.363
8/15	FGVインフレ率IGP-10(前月比)	Aug	-0.43%	-0.56%
8/15	経済活動(前月比)	Jun	-1.22%	-0.18%
8/15	経済活動(前年比)	Jun	-1.42%	-0.17%

6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ : 2.23—2.30

今週はリスクオフモードの動きが強く、レアルは3月末の水準まで売り戻される展開となった。しかし金曜日にはウクライナ紛争の緊張緩和が見られるとレアルは買い戻されるも、回復幅は限定的となった。対ドルで他の主要通貨に比べると、レアルは大きく売られており、その理由としては国内要因にある。大統領選挙が少しずつ近づく中、直近の世論調査ではルセフ大統領の支持率が上昇したことから市場では嫌気がさしたと思われる。来週は国内では重要な経済指標が少なく、注目は海外要因に集まるだろう。更にウクライナ紛争をめぐる懸念が続く中、リスクオフモードの動きは引き続き見られると思われ、レアル相場のボラティリティーは引き続き高いため、2.3000を再び下抜ける場合にはストップロスの動きに繋がることもあり、レアルの値動きが荒くなる可能性が高い。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したのですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A Treasury Department